

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2023 発表

「臨床整形外科」誌では整形外科領域に関する独創的で優れた論文を最優秀論文賞として表彰しています。昨年1年間(2023年, 58巻)に掲載された投稿論文を対象に、厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「単一施設での20年間の脊椎内視鏡下手術についての検討」

矢渡健一・吉田宗人・野村和教・中村陽介・岡田基宏・中山渕志・岡田紗枝

2023年4月号(58巻4号): 403-410

■受賞のことば

この度は、栄誉ある「臨床整形外科」最優秀論文賞2023に選出いただき、心より感謝申し上げます。私は諸先輩方が築き上げられた軌跡をまとめたにすぎませんが、大変光栄に存じます。

腰椎椎間板ヘルニアに対する術式として始まった脊椎内視鏡下手術は、この20年間に頸椎、胸椎、腰椎外側病変にもその適応を拡大し、後方除圧術のほぼすべての症例に対応可能、さらに近年では頸椎前方固定術、腰椎後方固定術にも応用されています。われわれは脊椎内視鏡下手術は脊椎除圧術、固定術の標準術式となり得ると考えていますが、地域によってはその適応は限定されていることもまた事実です。今回の論文の知見が1人でも多くの先生方の目に留まり、脊椎内視鏡下手術が今後国内外を問わず広く普及することへの一助になってくれることを願ってやみません。

また、本研究では角谷整形外科病院 野村和教先生・吉田宗人先生には多大なご支援をいただきました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

(矢渡健一)



矢渡健一

社会医療法人スミヤ
角谷整形外科病院整形外科

本論文は2025年6月1日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「医書.jp」内において無料でご覧いただけます。受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。雑誌「臨床整形外科」に奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。